

脱・情報格差

～学生への効果的な情報伝達方法～

グループ名:D5

情報化における現状の問題点

大学から発信される情報が学生に伝達しない

- ・レポート等の締切がわからない、守らない
- ・ガイダンスの日時がわからずに欠席
→学生生活への弊害
学生にとっての不利益・不平等

この問題点をどう解決するか。

問題の原因を探る

発信側の問題点

教員

教員の中にも情報弱者がいる

授業

情報教育が徹底されていない

環境

十分な情報が提供されていない

職員

効果的に情報を提供していない

問題の原因を探る

受信側の問題点

学生の質

学生の中にも情報弱者がいる

環境・情報スキル

十分な環境を持っていない

自主性

大学生としての意識の欠如



導き出される解決策

発信側の解決策

教員

教員用の講習や専門スタッフの雇用

授業

情報教育につながるカリキュラムの編成

環境

情報の到達度の解析と検討、及び環境整

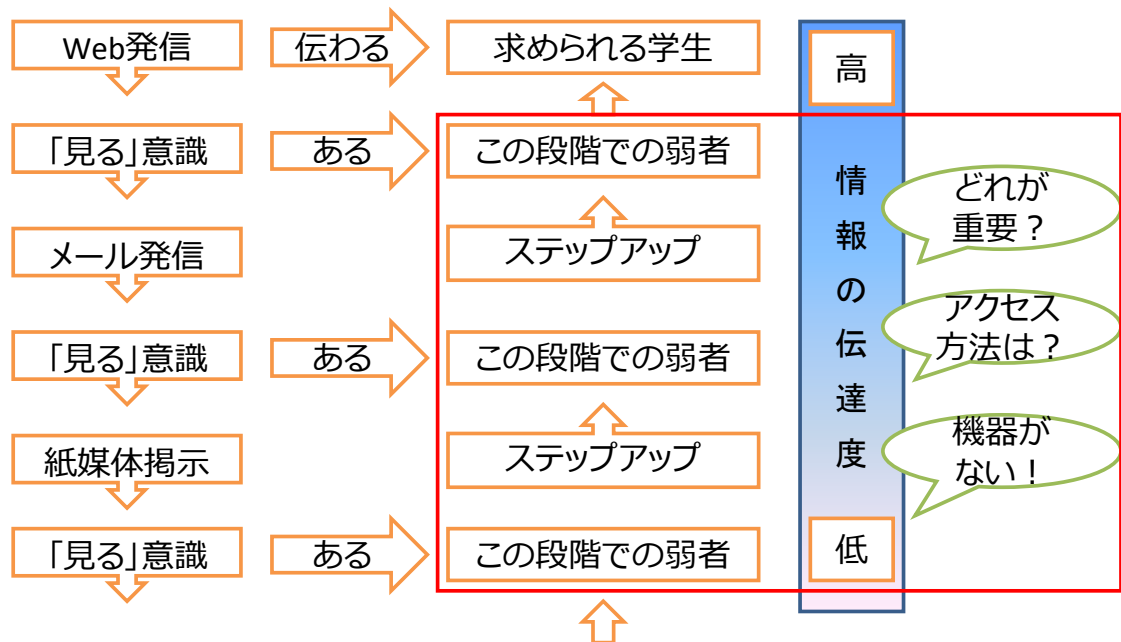
備

職員

専門部署の設立、職員教育の充実

導き出される解決策

ターゲットとなる学生の明確化



解決策により得られる成果

1. 基礎的なPC操作技能の所得
2. WEBでのフォロー
→WEBコミュニケーション能力の向上
3. 職員による直接的フォロー
→人的コミュニケーション能力の向上

上記1～3により、
社会に出た時点で遅れを取らない人材の育成
につながるのではないかと。

脱・情報格差

～学生への効果的な情報伝達方法～

グループ名:D5